

地域の背景・課題

【総合戦略の基本目標】

湯前町：湯前の発展を支える産業と、持続的で魅力ある雇用を創る

高森町：観光分野における新規雇用の創出と日帰り・宿泊観光客の増加

- 熊本県は、「ワンピース」の尾田栄一郎氏や「あしたのジョー」の梶原一騎氏など著名な漫画家や漫画原作者を多数輩出しており、また県内在住の現役漫画家も多く、県内各自治体においては漫画に関連した様々な施策に取り組んでいる。
- これらの取組みはイベント開催時には一定の経済効果をもたらしているものの、それ以外においては漫画によって人を呼び込み、消費を喚起する仕組みを構築するまでに至っておらず、雇用を創出するといった効果も生まれていない。
- 課題は、事業展開が単独自治体で終わっているため、情報発信にも限界があり、施策としての発展性が見いだせていないことが挙げられる。

⇒ 同様の課題を抱えている県内自治体(7市町)及び民間事業者等で構成する「くまもとメディアコンテンツコミッション協議会」会員である湯前町と高森町が中心となって、スケールメリットを発揮しながら、漫画を活用した各種事業を展開し、観光入込客数の増加と継続的な消費喚起及び雇用創出に繋げていく。

取組の概要

【しごと創生】

観光振興(DMO等)の観光分野

【湯前町・高森町の連携した取組み】

①「まんが図書館カフェ」の設置

- ・協議会や地元関係者と連携した「まんが図書館カフェ」の設置・運営(湯前町)
- 消費を喚起する仕組みの構築

②コラボ企画展・周遊ラリーの開催

- ・協議会参加7市町を巡るコラボ企画展や周遊ラリーの開催(湯前町・高森町)
- ・漫画(ワンピース)ラッピング列車の運行
- 観光入込客の増加

③ファンミーティングやモニターツアーの開催

- ・漫画家を招致してのファンミーティングやモニターツアーの開催(湯前町)
- 観光入込客の増加

④民間事業者の育成

- ・民間事業者を対象に漫画・アニメ講座を開催(高森町)
- 漫画・アニメを活用した観光客受け入れ体制の構築



©尾田栄一郎/集英社
©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション



くまもとメディアコンテンツコミッション協議会

＜参画団体＞

- 熊本市 ○水俣市 ○天草市 ○合志市
- 菊陽町 ○高森町 ○湯前町 ○民間事業者

＜活動概要＞

- ①県内の資源を都市部のクリエイター向けのツアーを実施
 - ②地域住民を巻き込んだイベントの開催
 - ③地域資源を活用したご当地アニメ制作等による情報発信
- サイト：<http://www.kumamoto-mcc.com/>

◆参画
◆検証
◆応用



◎今後は…

これらの事業を足掛かりに、協議会の連携をより密にし、事業規模を拡大していくことで、国内の大都市圏はもちろん、海外の大きな市場をターゲットに見据えた取り組みを進めていく。